



2027年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年 8 月 4 日

上場会社名 安田倉庫株式会社 上場取引所 東
コード番号 9324 URL <https://www.yasuda-soko.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 一成
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 荒川 昌幸 TEL 03-3452-7311
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (2026年 4 月 1 日～2026年 6 月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年 3 月期第 1 四半期	19,914	△2.7	984	0.3	1,071	6.6	4,007	550.0
2026年 3 月期第 1 四半期	20,457	15.9	981	71.8	1,005	38.1	616	50.6

(注) 包括利益 2027年 3 月期第 1 四半期 △2,127百万円 (-%) 2026年 3 月期第 1 四半期 963百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年 3 月期第 1 四半期	139.33	-
2026年 3 月期第 1 四半期	21.29	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年 3 月期第 1 四半期	226,354	104,708	46.1
2026年 3 月期	234,046	108,408	46.1

(参考) 自己資本 2027年 3 月期第 1 四半期 104,243百万円 2026年 3 月期 107,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年 3 月期	-	29.00	-	41.00	70.00
2027年 3 月期	-	-	-	-	-
2027年 3 月期 (予想)	-	37.00	-	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年 3 月期の連結業績予想 (2026年 4 月 1 日～2027年 3 月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 (累計)	40,000	△0.5	1,800	△10.4	2,400	△10.4	4,900	181.8	170.51
通期	82,000	2.5	4,100	△4.4	5,200	△10.7	6,200	△7.9	214.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	30,360,000株	2026年3月期	30,360,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,649,311株	2026年3月期	1,483,411株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	28,765,022株	2026年3月期1Q	28,963,954株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善の動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、緊迫化が続く中東地域をめぐる情勢や主要国の金融政策の動向、これらに伴う原材料・エネルギー価格や物価の変動リスクなど、先行きは引き続き予断を許さない状況が続いています。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界において国内貨物の一部に伸び悩みがみられるものの、消費関連貨物などを中心に概ね堅調な荷動きで推移しました。その一方で、中東情勢に伴うエネルギー価格の変動や、人件費高騰・労働力不足による収益への下押し圧力は続いており、予断を許さない状況にあります。また、不動産業界では、安定した需要の下で都市部オフィスビルの空室率は低水準を維持し、賃料も上昇基調が継続しました。

このような状況のもと、当社グループは、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」と、その実現に向けた中期経営計画「強くなる、ひとつになる YASDA GROUP CHALLENGE 2027」を策定し、事業体制の構築と更なる成長を目指してまいりました。物流事業においては、グループ連携によるネットワーク拡充により、事業基盤の強化を図り、潜在するニーズを捉えた高品質・高付加価値物流の提供やソリューション提案力の強化、ならびに最先端テクノロジーやデジタル技術を積極的に活用したデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進により取引の拡大に努めてまいりました。また、不動産事業においては、保有不動産の維持管理と価値向上施策や高い専門性を活かした不動産ソリューションの提供を通じて、安定的な収益基盤をより強固なものとしてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、不動産事業が増収となった一方で、物流事業が減収になったことにより、営業収益は、前年同期比543百万円減（2.7%減）の19,914百万円となりました。また、営業利益は、営業原価の減少により営業総利益率が上昇し、前年同期比2百万円増（0.3%増）の984百万円、経常利益は、雑支出の減少等により前年同期比66百万円増（6.6%増）の1,071百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の増加により前年同期比3,391百万円増（550.0%増）の4,007百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、倉庫・輸配送ネットワークの拡充や新規取引の獲得、既存顧客との取引拡大等により保管料、倉庫作業料、陸運料は増加したものの、国際貨物取扱料の減収に加え、前年同期に一時的に計上した物流付帯業務（原薬販売）に係る収益が当期にはなかったこと等から、営業収益は前年同期比553百万円減（2.9%減）の18,445百万円となりました。セグメント利益は保管料、倉庫作業料、陸運料の増収や営業原価の減少により利益率が上昇したことから、前年同期比74百万円増（5.9%増）の1,341百万円となりました。

不動産事業では、不動産賃貸料が堅調に推移し、営業収益は前年同期比31百万円増（2.0%増）の1,613百万円、セグメント利益は前年同期比7百万円増（1.5%増）の497百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に投資有価証券の時価評価の減少や現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ7,692百万円減の226,354百万円となりました。

負債については、主に投資有価証券の時価評価の変動に伴う繰延税金負債の減少や借入金の返済等により、前連結会計年度末に比べ3,992百万円減の121,645百万円となりました。

純資産については、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加もありましたが、主にその他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ3,700百万円減の104,708百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末から概ね横ばいの、46.1%となりました。

なお、当社グループは長期借入金の調達にあたり、調達額の一定割合に対して格付上の資本性認定を受けることが出来る劣後特約付ローンによる資金調達を行っており、同ローンの資本性を考慮した格付上の自己資本比率は51.0%となります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5,252百万円減の22,423百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益や減価償却費の資金留保等による収入と法人税等の支払等による支出により、133百万円増（前年同期は673百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入もありましたが、主に定期預金の預入や固定資産の取得、投資有価証券及び子会社株式の取得等の支出により、2,491百万円減（前年同期は1,986百万円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の返済や配当金の支払いにより、2,929百万円減（前年同期は1,783百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月8日に発表いたしました2027年3月期の第2四半期（累計）の業績予想につきましては、修正いたしました。詳細については、2026年8月4日公表の「2027年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,753	25,844
受取手形及び営業未収金	12,927	11,203
その他	1,381	1,828
貸倒引当金	△86	△87
流動資産合計	41,975	38,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,178	54,057
機械装置及び運搬具（純額）	3,780	3,965
工具、器具及び備品（純額）	946	982
土地	45,031	45,459
建設仮勘定	2,562	13
有形固定資産合計	101,498	104,478
無形固定資産		
のれん	4,337	4,394
借地権	1,016	1,016
その他	3,072	3,094
無形固定資産合計	8,426	8,505
投資その他の資産		
投資有価証券	76,739	69,011
繰延税金資産	638	639
退職給付に係る資産	2,253	2,289
その他	2,552	2,676
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	82,146	74,580
固定資産合計	192,070	187,565
資産合計	234,046	226,354

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	6,813	5,012
短期借入金	2,296	2,291
1年内償還予定の社債	7	-
1年内返済予定の長期借入金	6,263	6,025
未払法人税等	2,008	1,893
未払費用	2,064	1,940
その他	2,701	4,231
流動負債合計	22,155	21,395
固定負債		
社債	16,500	16,500
長期借入金	53,568	52,730
繰延税金負債	25,240	22,692
退職給付に係る負債	2,231	2,229
長期預り敷金保証金	4,280	4,372
その他	1,661	1,725
固定負債合計	103,482	100,250
負債合計	125,638	121,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,814	2,814
利益剰余金	50,361	53,179
自己株式	△1,393	△1,776
株主資本合計	55,385	57,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,485	44,257
繰延ヘッジ損益	23	16
為替換算調整勘定	757	867
退職給付に係る調整累計額	1,315	1,281
その他の包括利益累計額合計	52,581	46,423
非支配株主持分	441	464
純資産合計	108,408	104,708
負債純資産合計	234,046	226,354

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業収益		
保管料	2,551	2,862
倉庫作業料	2,686	2,807
陸運料	7,868	8,664
国際貨物取扱料	2,730	2,190
物流賃貸料	575	581
不動産賃貸料	1,162	1,172
その他	2,882	1,636
営業収益合計	20,457	19,914
営業原価		
作業費	8,149	8,099
人件費	3,852	4,105
賃借料	1,046	1,088
租税公課	338	348
減価償却費	1,041	1,187
その他	3,511	2,406
営業原価合計	17,939	17,236
営業総利益	2,518	2,678
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	609	683
福利厚生費	98	111
退職給付費用	7	4
減価償却費	101	102
支払手数料	159	169
租税公課	43	110
その他	517	512
販売費及び一般管理費合計	1,536	1,694
営業利益	981	984
営業外収益		
受取利息	5	11
受取配当金	333	332
持分法による投資利益	-	0
雑収入	43	66
営業外収益合計	382	411
営業外費用		
支払利息	253	304
借入関連費用	7	7
雑支出	97	11
営業外費用合計	358	323
経常利益	1,005	1,071

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
特別利益		
投資有価証券売却益	-	5,015
固定資産売却益	7	43
特別利益合計	7	5,059
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産廃棄損	9	162
投資有価証券評価損	25	-
特別損失合計	34	162
税金等調整前四半期純利益	978	5,969
法人税、住民税及び事業税	228	1,828
法人税等調整額	117	114
法人税等合計	345	1,942
四半期純利益	632	4,026
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	616	4,007

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	632	4,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	832	△6,228
繰延ヘッジ損益	△42	△7
為替換算調整勘定	△429	114
退職給付に係る調整額	△29	△33
その他の包括利益合計	330	△6,153
四半期包括利益	963	△2,127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	964	△2,151
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	978	5,969
減価償却費	1,168	1,290
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付に係る資産負債の増減額	△39	△86
受取利息及び受取配当金	△338	△344
支払利息	253	304
持分法による投資損益(△は益)	-	△0
有形固定資産売却損益(△は益)	△7	△43
固定資産廃棄損	9	162
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△5,015
投資有価証券評価損益(△は益)	25	-
売上債権の増減額(△は増加)	△1,229	1,907
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,235	-
仕入債務の増減額(△は減少)	902	△1,948
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	1	91
前受金の増減額(△は減少)	△1,430	14
その他	△293	△298
小計	1,235	2,001
利息及び配当金の受取額	336	346
利息の支払額	△226	△292
法人税等の支払額	△672	△1,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	673	133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△153	△3,293
定期預金の払戻による収入	11	-
有形固定資産の取得による支出	△1,749	△1,590
有形固定資産の売却による収入	8	45
無形固定資産の取得による支出	△66	△103
投資有価証券の取得による支出	△0	△1,301
投資有価証券の売却による収入	-	5,020
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,090
その他	△35	△177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,986	△2,491
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	80	100
短期借入金の返済による支出	△84	△104
長期借入れによる収入	100	390
長期借入金の返済による支出	△1,216	△1,679
社債の償還による支出	△14	△7
自己株式の取得による支出	-	△382
配当金の支払額	△575	△1,164
その他	△71	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,783	△2,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	△100	35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,197	△5,252
現金及び現金同等物の期首残高	20,384	27,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,186	22,423

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	18,994	1,463	20,457	-	20,457
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3	117	121	△121	-
計	18,998	1,581	20,579	△121	20,457
セグメント利益	1,267	490	1,757	△775	981

(注) 1. セグメント利益の調整額△775百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△776百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	18,440	1,474	19,914	-	19,914
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	4	139	143	△143	-
計	18,445	1,613	20,058	△143	19,914
セグメント利益	1,341	497	1,839	△855	984

(注) 1. セグメント利益の調整額△855百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△848百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

重要性が乏しいため記載を省略しております。